

## 【SiteGuard WP Plugin】導入時の注意点

### Easy Lockdownとは

WordPressは通常、urlに/wp-adminや、/wp-login.phpをつけると、管理画面へアクセスすることができます。

便利な反面、パスワードが流出してしまうと不正アクセスの原因にもつながる為、セキュリティ対策が重要です。

そこで、よく使用されているのが、SiteGuard WP Pluginです。開発元が日本ということもあり、WPのセキュリティプラグインの中で最も知名度が高いのではないのでしょうか。



しかし、設定をしっかりと理解して使用しないと、管理画面にログインできなくなってしまうなどのトラブルにもつながりますし、プラグイン自体のエラーなのが判断できず、改善に時間をかけてしまう原因にもなります。

こちらの記事では、サイトガードガードプラグインを提供する、EGセキュアソリューションズ (<https://www.eq-secure.co.jp/>)の提供する使用方法ページ: [https://www.jp-secure.com/siteguard\\_wp\\_plugin/howto/](https://www.jp-secure.com/siteguard_wp_plugin/howto/)を参考に、設定方法について解説します。

### 挙動に対する対応

まず注意点として、プラグインを有効化した時点で、自動的にログインURLが切り替わります。

そのため、最初にURLを控えることを忘れないようにしてください。(管理画面にログインできないなどの問題が発生してしまいます。)

http://ホスト名/wp-admin/を指定してアクセスした場合、変更後のログインページにリダイレクトするため、新しいURLを表示させないようにするためには、

- ①ログインページにリダイレクトさせないにチェックを入れる
- ②管理画面アクセス制限を併用

で対処しましょう。

#### ◆ 管理画面アクセス制限を併用を使用する場合

これは、24時間以内に管理画面内にログインしたことの無い訪問者を、IPアドレスによってブロックします。  
http://ホスト名/wp-admin/でログインしようとしたユーザーは、404へリダイレクトされます。

ログインする場合は、ログインページ変更で指定されたURLからアクセスしてください。

もし、設定を見直しても、ログインできないなどのエラーが発生する場合は、他のプラグインが悪さをしている可能性もあります。特に、キャッシュ系やセキュリティ系プラグインを重点的に、一つひとつプラグインを無効化し、検証してみましょう。(サイトガードのように、無効化だけでは情報が残ってしまうものもあるため、アンインストールやFTP上から削除することも検討してください。)

その他、PHPやWPのバージョンアップ時にエラーが発生した場合や、上記の検証を行っても解決しない場合は、プラグインやWordPressのバグの可能性もあるため、<https://wordpress.org/support/plugin/siteguard/>や、[wordpress.org](https://wordpress.org/)に問い合わせるのも一つの手段です。

- 記載されている製品やユーザー様に関する情報は事前の予告なしに変更する場合があります。
- 本文中に記載の会社、ロゴ、製品の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

ART PEACE

〒150-0013  
東京都渋谷区恵比寿 1-24-16 カルチェ恵比寿 202

<https://artpeace.jp/>  
[info@artpeace.jp](mailto:info@artpeace.jp)